

戸川敬一 けいいち ドイツ文学者。明治四十一年一月、山口愛知縣豊橋生れ、平成十四年四月九日歿（九〇九一三〇二）。昭和七年上智大文学部ドイツ文学科卒。スイス、ドイツに留學。歸國後母校教授となる。ドイツ語・文学を講ず。のち文藝部長、上智學院理事の他、日本獨文學會・日本ゲーテ協會理事を務めた。

譯書に、クレメンス・ブレントナーノ作『先生と五人の息子』（昭和十九年十月二十日大阪・増進堂「獨逸童話文學選集」）、ハインリヒ・デュエリッソ著『近代思想と基督教』（小林玲雄共譯、昭和二十一年十月二十日ルイブルト・エンゲルレ書店）、同『マルキシバムと實存主義の間ーキリスト教的人間像』（昭和二十四年十一月二十五日要書房）等。著書に、『落穂集（ドイツ文学をめぐって）』（戸川教授還暦記念刊行会編、昭和四十五年十一月二十日春秋社）、『遺文集』、『夕映え』、『Im Abendrot』（平成十五年四月九日南窓社）等。

